

日本電波工業株式会社

第 81 期報告書

(2021年4月1日～2022年3月31日)



株主の皆様へ



代表取締役会長
竹内敏晃

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第81期（2021年4月1日～2022年3月31日）の事業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

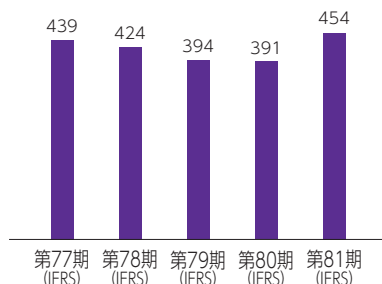
当期における世界経済は、前半には主要国における大規模な金融緩和や積極的な財政出動により景気は回復に向かっておりましたが、半導体等の部材不足に起因する供給網混乱の長期化や新型コロナウイルス感染の再拡大が回復の勢いに影を落としました。また、2022年に入り、米国ではインフレ抑制を目的とした金融引き締めに動いており、ロシアによるウクライナ侵攻や中国における「ゼロコロナ」政策による都市封鎖等、世界経済の先行きへの不透明要因が新たに出現しました。

当社売上高の約半分を占める車載向けでは、顧客であるTier 1 メーカー（完成車メーカーに部品を供給するメーカー）からの受注は引き続き高い水準で推移しており、当連結会計年度の売上高は前期比2割以上増加いたしました。売上高の2割弱を占める移動体通信向けでは、5Gスマホ向け76.8MHzサーミスタ内蔵水晶振動子の販売は堅調に伸びましたが、TCXO（温度補償水晶発振器）の販売が減少したため、

財務ハイライト（連結）

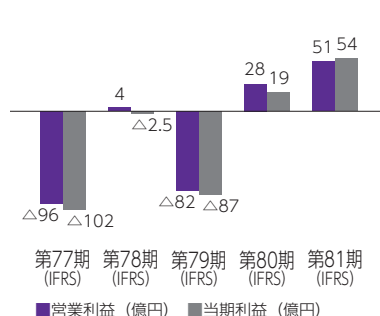
売上高

（単位：億円）



営業利益・当期利益

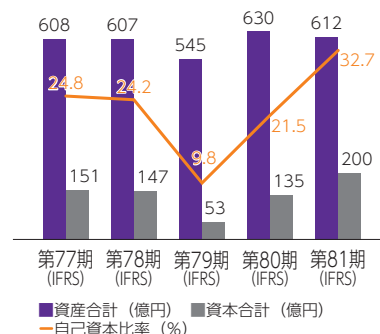
（単位：億円）



資産合計・資本合計
自己資本比率

（単位：億円）

（単位：％）



売上高は前期比で微増にとどまりました。売上高の1割弱を占める産業機器向けは、米国政府による中国通信機器大手メーカーに対する輸出規制の影響を受け、同メーカーに対する販売は減少しましたが、米国等における5G基地局の需要増により、売上高は前期比で微減となりました。この他、民生やIoT向けの売上高が前期比増加いたしました。

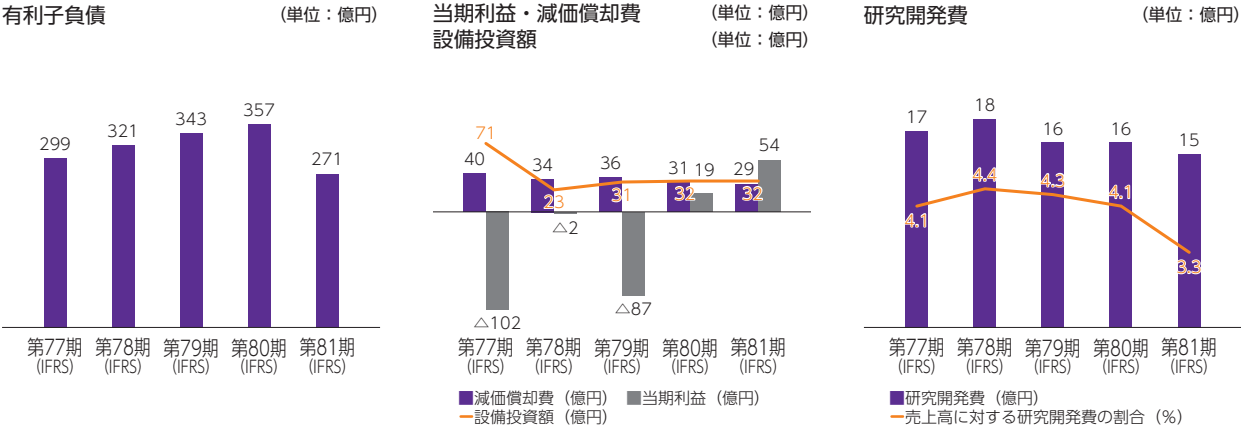
その結果、当期の売上高は45,408百万円（前年比15.8%増）となり、営業利益は5,180百万円（前期比82.2%増）、税引前当期利益は4,920百万円（前期比89.8%増）、当期利益は5,455百万円（前期比176.1%増）となりました。

以上の業績に鑑み、復配の目途がついたことから、普通株式1株あたり5円の期末配当を行うこととしました。

当社は、次期（2023年3月期）から2025年3月期を最終年度とする中期経営計画を始動いたします。中期経営計画では、高速通信規格「5G」需要の本格化や、自動車に搭載されるADAS（先進運転支援システム）機器の増加といった、当社が強みとする高精度・高信頼の水晶デバイスの需要増大が見込まれ、これに対応した積極的な設備投資を実施いたします。また、財務面では借入金を着実に圧縮し、財務体質の健全化を推進いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



NDKの事業領域

通信インフラ

NDKの製品・技術は、通信ネットワークインフラの構築にも貢献しています。NDKには、各世代におけるインフラ構築を支えてきた実績があり、現在進展しつつある5Gの基地局ネットワークシステムに対しても、さまざまな水晶デバイスを供給し、基地局の大容量で安定した通信を支えています。5Gのネットワーク整備は、今後さらなる拡大が予測されますが、NDKは既に次世代の通信である6Gを見据えた技術・製品開発にも着手しています。



スマートフォン

NDKの製品・技術は、スマートフォンなどエレクトロニクス製品の正常な稼働にも貢献しています。モバイル通信が5Gに移行し、通信が高速化する中で、水晶デバイスにもより高度な性能が求められるようになりました。NDKは、これまでに培った設計ノウハウと独自の技術を活かし、5G通信での高い要求に応えた小型かつ高周波の水晶デバイスを開発しました。その信頼性は多くの顧客に支持され、さらなる需要拡大につながっています。



テクノロジーを支える

鼓動

宇宙

人類の夢を乗せて宇宙へ飛び立つ人工衛星の内側でもNDKの水晶デバイスは活躍しています。打ち上げの衝撃・振動、激しい熱変動、高レベルの放射線など、宇宙空間では極めて過酷な状況下で性能を発揮することが求められます。JAXA（宇宙航空研究開発機構）から国内唯一の水晶振動子認定メーカーに指定されていることは、NDKの水晶デバイスの性能が評価されていることを証明するものと言えるでしょう。



自動車

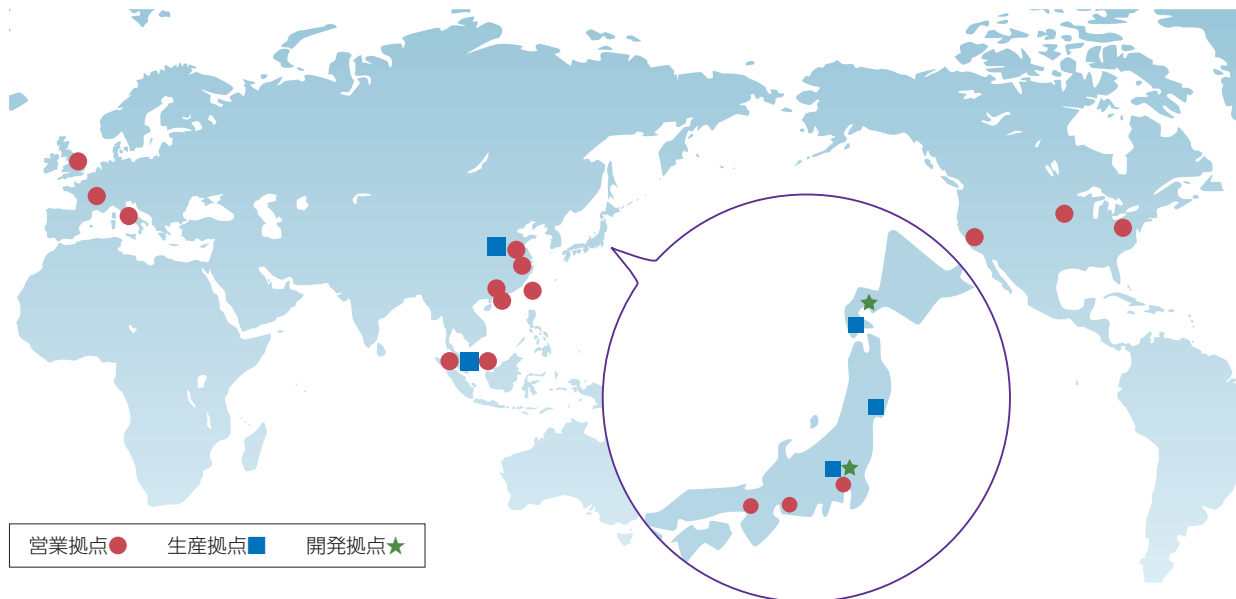
NDKの製品・技術は、エンジンやブレーキ、エアバッグの制御など自動車の安全性に貢献するほか、スピードメーターやカーオーディオ、TPMS（タイヤ空気圧監視システム）、キーレスエントリーシステムにも採用されています。さらには、次世代の自動車のカギとなるADASや自動運転に貢献する領域に広がっており、そのポテンシャルは計り知れません。



ヘルスケア

医療・ヘルスケア分野における無線機器のニーズの拡大に伴い、NDKの水晶デバイスの活躍の場が広がっています。命を預かる重要な役割を担うため、品質の高さが大きな強みになっているのです。水晶デバイス以外にも、NDKは、1970年代から、人体内部を観察する超音波診断装置において、センサの役割を担う超音波プローブを開発・提供しています。

NDKグループネットワーク



事業所及び営業所

- 本社事務所（東京都渋谷区）
- 関西営業所（大阪府大阪市）
- 中部営業所（愛知県岡崎市）
- ★ 狭山事業所（埼玉県狭山市）
- ★ 千歳テクニカルセンター（北海道千歳市）

国内関係会社

（国内生産拠点）

- 古川エヌ・デー・ケー株式会社（宮城県大崎市）
- 函館エヌ・デー・ケー株式会社（北海道函館市）

海外関係会社

（海外営業拠点）

- NDK AMERICA, INC.（アメリカ・イリノイ州）
- SILICON VALLEY OFFICE（アメリカ・カリフォルニア州）
- EASTERN U.S. REGIONAL OFFICE（アメリカ・ペンシルバニア州）
- NDK EUROPE LTD.（イギリス・ロンドン）
- NDK EUROPE LTD. FRENCH OFFICE（フランス・パリ）
- NDK EUROPE LTD. ITALY OFFICE（イタリア・ミラノ）
- NDK CRYSTAL ASIA PTE. LTD.（シンガポール）
- 日本電波工業（香港）有限公司（中国・香港）
- 香港商日電波有限公司台北分公司（台湾・台北）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司（中国・上海）
- 日電波水晶（上海）貿易有限公司深圳分公司（中国・深圳）
- 蘇州日電波電子工業有限公司営業部（中国・蘇州）
- 蘇州日電波工業貿易有限公司（中国・蘇州）
- ASIAN NDK CRYSTAL SDN.BHD. SALES DEPT.（マレーシア・セランゴール州）

（海外生産拠点）

- ASIAN NDK CRYSTAL SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- NDK QUARTZ MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア・セランゴール州）
- 蘇州日電波電子工業有限公司（中国・蘇州）

第81回定時株主総会決議ご通知

当社第81回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

- 報告事項**
- (1) 第81期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - (2) 第81期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案のとおり承認可決されました。

第3号議案 会計監査人選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、太陽有限責任監査法人が選任され、就任いたしました。

以 上

◎Information

当社ホームページを リニューアルしました

当社WEBサイトでは最新のトピックス、詳細なIR情報などがご覧いただけます。水晶の特性や水晶デバイスの役割等を説明した「水晶の世界」という特設ページもございます。ぜひご覧ください。

Q NDK 検索

<https://www.ndk.com/jp>



● 製品情報



● 投資家の皆様へ



<https://www.ndk.com/jp/ir>

会社の概要 (2022年3月31日現在)

商 号	日本電波工業株式会社
英 文 社 名	NIHON DEMPA KOGYO CO., LTD.
設 立	1948年4月15日
資 本 金	55億円
従 業 員	662名
主 要 製 品	産業用水晶振動子、民生用水晶振動子、水晶発振器、水晶フィルタ、信号発生器、周波数シンセサイザ、超音波探触子、人工水晶、光学用デバイス、QCMセンサ

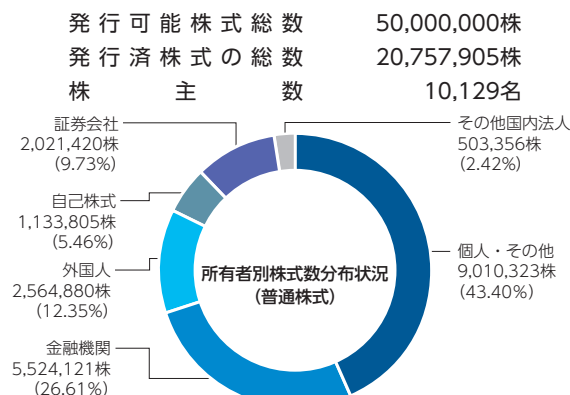
役員 (2022年6月28日現在)

会 社 に お け る 地 位	氏 名
代 表 取 締 役 会 長	竹 内 敏 晃
代 表 取 締 役 執 行 役 員 社 長	加 藤 啓 美
取 締 役 常 務 執 行 役 員	上 木 健 一
取 締 役 常 務 執 行 役 員	及 川 英 之
取 締 役 常 務 執 行 役 員	菅 原 賢 一
取 締 役 常 務 執 行 役 員	竹 内 謙
社 外 取 締 役	立 光 武 彦
社 外 取 締 役	諏 訪 頼 久
常 勤 監 査 役	坂 入 夏 彦
監 査 役	吉 利 誠
監 査 役	安 樂 恒 樹

株 主 メ モ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
基 準 日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単 元 株 式 数	100株
公 告 方 法	電子公告（予備的公告方法は日本経済新聞）
公 告 掲 載 URL	https://www.ndk.com/ir

株式の状況 (2022年3月31日現在)



- 注1) 公募による当社普通株式に係る新株式発行・自己株式の処分により、2022年4月14日付で普通株式の発行済株式総数は2,268,100株増加し、自己株式数は1,133,700株減少しました。
- 注2) オーバーアロットメントによる当社普通株式の売出しに関連して行われた第三者割当による新株式発行により、2022年5月10日付で普通株式の発行済株式総数は102,600株増加しました。
- 注3) 2022年5月26日付で、A種種類株式の全部の取得及びA種種類株式の消却を行いました。

大株主の状況 (2022年3月31日現在)

株 主 名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,217千株	11.29%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	774千株	3.94%
野村證券株式会社自己振替口	750千株	3.82%
株式会社りそな銀行	667千株	3.40%
竹 内 敏 晃	623千株	3.17%
株式会社埼玉りそな銀行	610千株	3.10%
竹 内 寛	528千株	2.69%
S I X S I S L T D .	409千株	2.08%
MSCO CUSTOMER SECURITIES	361千株	1.84%
丸 三 証 券 株 式 会 社	336千株	1.71%

注) 自己株式につきましては、上記大株主からは除外しております。また、持株比率は、発行済株式総数から自己株式の数を控除して算出しております。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電 話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証 券 コ ー ド	6779